

中期計画（案）について　－地方独立行政法人広島市立病院機構－

中期計画（案）	説　　明
（前文） 地方独立行政法人広島市立病院機構（以下「市立病院機構」という。）は、市民の健康の維持・増進を図るため、地域の医療機関等との連携の下、引き続き<u>市民に信頼され満足される質の高い医療を継続的かつ安定的に提供する</u>必要があります。 このため、広島市民病院、安佐市民病院、舟入市民病院及びリハビリテーション病院・自立訓練施設では、次のことを計画期間中の重点目標として、<u>それぞれの特徴を生かした医療の提供</u>に努めます。 （広島市民病院） 広島市の医療施策上必要とされる医療の提供に関し中心的役割を担うとともに、地域の医療水準をリードする急性期病院として、高い医療水準の維持・向上を図ります。 （安佐市民病院） 広島市北部だけでなく、広島二次保健医療圏の北部、備北地域、さらには、島根県の一部を支える北部地域の中核病院として、医療機能の充実・強化を図ります。また、耐震性の向上と老朽化・狭あい化の解消を図るため、建替えを推進します。 （舟入市民病院） 小児救急医療の安定的な提供を図るとともに、第二種感染症指定医療機関として、感染症患者の受入体制を維持します。また、広島市民病院との連携強化等に取り組み、病院機能の向上を図ります。 （リハビリテーション病院・自立訓練施設） 高度で専門的な回復期リハビリテーション医療を提供するとともに、自立のための訓練と合わせ一貫したリハビリテーションサービスを提供します。また、広島市身体障害者更生相談所と連携して、地域リハビリテーションの推進を図ります。 こうした重点目標を達成し市民により良質な医療を提供するため、必要な人材の確保、育成に努め、<u>職員が意欲的に働くことができる、働きやすい職場環境への改善</u>を図るとともに、<u>安定した経営の維持</u>に努めます。 市立病院機構は、地方独立行政法人に移行しても、各病院は自治体病院として、広島市の医療に関して重い責任を担い続けなければならないことを十分認識し、法人制度の特長を最大限に生かし、求められる医療の継続的かつ安定的な提供に取り組みます。	（病院運営の目標と取組の柱） 市立病院機構は、「医療機能の拡充」、「運営体制の強化」、「安定した経営の維持」を取組の柱として、「市民に信頼され満足される質の高い医療の継続的、安定的な提供」を目指す。 I　医療機能の拡充 それぞれの病院の特徴を生かした医療の提供 II　運営体制の強化 職員が意欲的に働くことができる、働きやすい職場環境への改善 III　安定した経営の維持 （目標） 市民に信頼され満足される質の高い医療の継続的、安定的な提供
第１　中期計画の期間 平成２６年４月１日から平成３０年３月３１日までの４年間とします。	
第２　市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 １　市立病院として担うべき医療 それぞれの病院の特徴を生かし、他の医療機関との役割分担、連携を図りながら、市民生活に不可欠な医療や高度で先進的な医療を安定的に提供します。 （１）　広島市民病院 総合的で高水準な診療機能を有する広島市の中核病院として、引き続き、救急医療など市民生活に不可欠な医療や、がん、脳卒中、急性心筋梗塞などの治療を中心とした高度で先進的な医療を積極的に提供します。 ア　救急医療の提供 ・初期レベルの一次救急医療から、救命救急センターを備え一刻を争う重篤患者に対する三次救急医療までを２４時間３６５日体制で提供します。 ・受入困難事案の救急患者を一旦受け入れ初期診療を行った上で、必要に応じて支援医療機関への転院を行う役割を担う救急医療コントロール機能病院として、本格的な運営に取り組みます。 ・医師会が運営する夜間急病センターとの連携、協力の下、一次救急医療の提供体制の適切な運営に努めます。 ・医師、看護師の増員等により、救急患者の受入体制を強化します。	I　医療機能の拡充―それぞれの病院の特徴を生かした医療の提供

中期計画（案）	説 明																																																										
イ がん診療機能の充実 ・地域がん診療連携拠点病院として、豊富な治療実績や高度な医療機器を生かし、手術や化学療法、放射線治療を適切に組み合わせた治療を行います。 ・がんに関する様々な情報を病院内の医療情報サロンやホームページ等で提供するとともに、患者やその家族が定期的に情報交換・交流できる場を提供します。 ・平成27年度開設予定の「高精度放射線治療センター（仮称）」へ医療スタッフを派遣するとともに、当該センターと連携して質の高い医療を提供します。	（救急患者の受入れ状況） 平成24年度、救急科では36,943人（1日平均101人）の救急患者を受け入れている。そのうち約7割が夜間の救急患者で、経路別では救急車による搬送が17%、症状別では軽症患者が72%となっている。この他に重篤な患者（485人）については、救命救急センターで直接受け入れている。																																																										
ウ 周産期医療の提供 総合周産期母子医療センターとして、リスクの高い妊産婦や極小低出生体重児に対する医療等、母体、胎児、新生児に対する総合的で高度な周産期医療を提供します。	<table><tr><th rowspan="2">区 分</th><th rowspan="2">件 数</th><th colspan="3">順 位</th></tr><tr><th>広島県</th><th>中四国</th><th>全国</th></tr><tr><td>肺がん</td><td>369件</td><td>1位</td><td>3位</td><td>19位</td></tr><tr><td>乳がん</td><td>482件</td><td>1位</td><td>1位</td><td>10位</td></tr><tr><td>胃がん</td><td>409件</td><td>1位</td><td>1位</td><td>7位</td></tr><tr><td>肝がん</td><td>123件</td><td>3位</td><td>6位</td><td>34位</td></tr><tr><td>大腸がん</td><td>298件</td><td>2位</td><td>4位</td><td>56位</td></tr><tr><td>前立腺がん</td><td>164件</td><td>3位</td><td>8位</td><td>80位</td></tr><tr><td>血液がん</td><td>71件</td><td>6位</td><td>29位</td><td>224位</td></tr><tr><td>婦人科がん</td><td>259件</td><td>1位</td><td>2位</td><td>14位</td></tr><tr><td>その他</td><td>653件</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td>合 計</td><td>2,828件</td><td>1位</td><td>2位</td><td>26位</td></tr></table>	区 分	件 数	順 位			広島県	中四国	全国	肺がん	369件	1位	3位	19位	乳がん	482件	1位	1位	10位	胃がん	409件	1位	1位	7位	肝がん	123件	3位	6位	34位	大腸がん	298件	2位	4位	56位	前立腺がん	164件	3位	8位	80位	血液がん	71件	6位	29位	224位	婦人科がん	259件	1位	2位	14位	その他	653件	－	－	－	合 計	2,828件	1位	2位	26位
区 分	件 数			順 位																																																							
		広島県	中四国	全国																																																							
肺がん	369件	1位	3位	19位																																																							
乳がん	482件	1位	1位	10位																																																							
胃がん	409件	1位	1位	7位																																																							
肝がん	123件	3位	6位	34位																																																							
大腸がん	298件	2位	4位	56位																																																							
前立腺がん	164件	3位	8位	80位																																																							
血液がん	71件	6位	29位	224位																																																							
婦人科がん	259件	1位	2位	14位																																																							
その他	653件	－	－	－																																																							
合 計	2,828件	1位	2位	26位																																																							
エ 災害医療の提供 ・災害拠点病院として、地震や台風等の自然災害、大規模火災等の都市災害に備え、自家発電設備等のライフライン機能の維持、医薬品の備蓄等を行い、災害時に、迅速かつ適切な医療提供ができる体制を確保します。 ・災害その他の緊急時には、広島市地域防災計画等に基づき、広島市長からの求めに応じて適切に対応するとともに、自らの判断で医療救護活動を行います。 ・DMAT（災害派遣医療チーム）の派遣要請に基づき、被災地へ医師等を派遣し、被災地の医療活動を支援します。	※出典 がん診療連携拠点病院院内がん登録 2011年全国集計報告（国立がん研究センター） ※調査対象 広島県 11、中四国 54、全国 395 病院 ※広島県内がん診療連携拠点病院(国指定 11) 広島市民病院、安佐市民病院、広島大学病院、県立広島病院、広島赤十字・原爆病院、広島総合病院、呉医療センター、東広島医療センター、JA尾道総合病院、三次中央病院、福山市民病院																																																										
オ 低侵襲手術等の拡充 内視鏡手術をはじめとした患者の身体的負担が少ない低侵襲手術等を拡充します。特に、内視鏡下手術用ロボット「ダヴィンチ」を活用した手術の対象領域の拡大を図ります。	（内視鏡手術等件数） ・内視鏡手術・内視鏡的治療件数 平成21年度 2,951 件→平成24年度 3,882 件（931 件 32%増） ・平成24年9月には、内視鏡下手術用ロボット「ダヴィンチ」を全国の																																																										

